

KEY TOPIC

グループ一体化で好調 9月期中間決算 売上高114%黒字化発表

売上高で昨対比114%を記録し、黒字発表となった中間決算。事業躍進を支えたのは、グループ体となった情報誌の強固な発行体制と、時流を見極めて数字を伸ばしたSP事業、そして、にっぽんオレンジシンボル運動を中心とする企業の社会的姿勢でした。

グループ体制確立を好機に 5期ぶりの黒字化を実現

昨年7月の株式会社ケイ・クリエイト、株式会社ケイビーエスとの一体化、株式会社CMSの設立、そして、この度の関西ほどと、当社はグループ強化を進めてまいりました。それぞれがもつノウハウを共有して業務のDX化を推進。解析データから得た情報をもとに最適な広告提案を展開しています。その結果、10月31日に行われた第46期中間決算発表では、グループ一体化のシナジー効果により、売上高の増加に加えて営業利益、経常利益、そして純利益において黒字化発表となりました。

新型コロナが5類に移行し社会経済が平常化する一方、円安が加速し、世界情勢も不安定を極めました。そんななか、広告業界ではデジタルと従来のメディアとの融合が進み、その効果を最大化する動きが始まりました。当社の今期の経営テーマは「不易流行」です。これまでと変わらない自社商品である紙のメディアで、とことん地域に寄り添う姿勢をもち、スローガン「ABCX」の考えのもと、「A=アドバタイジング」、「B=ビジネス」、「C=中広・地域」の「X=変革」を推し進めています。

当社はグループおよびVC各社と共に日本全国約5,000万世帯へのフリーメディア『地域みっちゃん生活情報誌』のポスティングを目指しています。今年9月時点で、その発行部数は31都道府県133誌、月間で10,929,609部となりました。岐阜県・愛知県・三重県・滋賀県・鳥取県においては世帯配布率が89.0%～67.3%と県内のほとんどの家庭に行き届くメディアへと成長。この配布率と掲載内容の安全性を認められ、地方法政の首長コラムに活用いただくことはもちろん、取り組みを広く住民に伝えるための広告媒体としても選ばれています。

QRコードを活用し、紙とウェブを融合した「ハイブリッド広告」は、『地域みっちゃん生活情報誌』に掲載される情報の深化を実

現し、クライアントや地域がもつ課題解決策として活躍しています。

今年は4年ぶりの対面開催がなかった全国VCサミットや、グループ会社と顔を合わせたの決起大会、そして毎週のオンライン配信CHCなど、あらゆる場面で「何のために仕事をするのか」を考える機会が多くありました。その方針に従業員が共有し、5,000万部発行達成に向けて心ひとつに取り組めたことが、黒字化実現へと結びました。



名古屋証券取引所で見学する大島育社長

存在意義のある情報誌を発行 社会に生かされる企業たる姿勢

総発行部数1,000万部を超える『地域みっちゃん生活情報誌』をはじめ、当社グループが発行する『ハッピーメディア』が果たすのは広告情報のお届けだけではなく、地域を網の目のように縫いながら手配りで届けられる情報誌が担うのは、「社会課題の解決」です。約20年前から始まった地域の清掃、発行エリアの海岸清掃、教育現場での体験提供やイベントへの出展など、CSR活動では多彩な方法で地域の「今」と向き合っています。また、CSVでは愛知県が抱えていた交通死亡事故数全国ワーストという地域課題に対し、交通安全の啓発ができました。現在、グループ全体とVC社、そしてJLAA加盟社が全力で取り組んでいるのが、「児童虐待防止」です。児童相談所への取材や行政担当課の協力を得て、直接、子育て世代に役立つ情報や地域の



にっぽんオレンジシンボル運動でオレンジ色に染まる岐阜城

見守りを強化するための情報を発信。我々が注力するのは児童相談所虐待対応ダイヤル「189」番の周知です。複雑な事情が絡み合う児童虐待の実態をただ伝えるだけでなく、虐待の当事者を救う方法として、児童相談所に直接繋がる「189」番を一人でも多くの人に知ってもらうのが目的です。

当社が実施した児童相談所への取材では、以下の事例を聞くことができました。

やんちゃ盛りの子どもと、 どう接すればいいのかわからなかった 保護者からの相談

溜まっていた不安が爆発したかのように押し寄せ、寝付けないでいたとき、頭に浮かんだのが「189」だった。泣きながら悩みを打ち明ける私の言葉を否定せず、ひたすら受け止めてくれた担当の方の声に、不安で押しつぶされそうだった心は落ち着いていきました。

母子家庭、コロナ禍で仕事が見つからず 食事がままならないほど 困窮を極めた家庭

市町村などが生活支援の提案をしても受け入れてもらえず、いよいよ水道や電気などもストップ。子どもを一時保護することに、身の安全と生活の立て直しのためでしたが、「一緒にいたい」と嫌がる親子を離すのは、胸が詰まる思いでした。その後、おさんは児童養護施設へ入所し、子どもらしい体型が戻ってきました。

11月、日本全国の賛同施設によって実現した「#にっぽんオレンジシンボル運動」は115カ所の地域シンボルをオレンジ色にライトアップし、「189」番の周知に努めました。我々が情報誌を発行することで、地域に暮らす人が少しでも安心して毎日を過ごせるように。大切な暮らしが守られるように。その思いで日々、地域を駆け巡っています。

命尽きるまで修業

次世代に引き継ぐまで責務を全うする。もちろん上機嫌で。

遊^ゆ行^{ぎょう}期を迎え 玄^{げん}冬^{とう}を生^{せい}きる

この12月で75歳になりました。37年前に逝去した親父殿の掌を右往左往する孫悟空のような私も、いわゆる後期高齢者です。

五木寛之の著書に『林住期』というベストセラーがあります。人生を4つに区切る古代インドの人生論です。25歳までを「学生期」、50歳までを「家住期」、75歳までを「林住期」、それ以降を「遊行期」といいます。これを古代中国の五行思想でいえば、学生期は青春、家住期は朱夏、林住期は白秋、遊行期は玄冬に当たります。

『林住期』は50歳から75歳までの白秋期の生き方を論じていますが、私は遊行期の玄冬の季節を迎えたことになります。この先どう生きるか、そう考えられる今を迎えたことに感謝し、まずはよしと思っています。

中国古典の『菜根譚』でも、「人を見るには、只だ後の半截を看よ」とあり、人の晩年は一生の総決算で、人の真価が定まってくるといわれています。

75年の人生を振り返れば、死を意識するほどの重大事に遭遇したことが何度ありました。平成5年4月18日名古屋小牧空港発、花巻行きの日本エアシステム（当時・東亜国内航空）DC9が花巻空港で着陸失敗、炎上した事故がありました。

その飛行機に乗り合わせ、滑走路に入った途端、エアポケットにはまったように落下、滑走路に衝突。車輪が胴体にめり込む状態で着陸しました。今でも鮮明に思い出しますが、路面と機体が擦れる音、窓からは炎と火柱が見え、機内には煙が充満。77名の乗客乗員はパニックを起こしていました。機体は滑走路の端で危うく停まったのですが、30メートル先には土止めがあり、激突すれば爆発炎上し、多数の死亡者を出す大事故になっていました。

事故の翌日、中日新聞に私の顔写真とコメントが掲載され、実に多くの方々から見舞いの連絡をいただきました。そのとき気づいたのです、自分はこの人たちに生かされてきたのだと。

「家住期」朱夏の時期に経験した大事故は、その後の私の死生観に繋がっています。人は必ず死に、いつ死ぬかはわからない。同時に生きていることと死んでいることに違いはない。だからこそ、なんのために人は生きるかを考え続けてきました。生業である広告業を

通して、「自分と自分の周りの人々の幸せのために」生きると覚悟した原点であります。

滅びの三原則 理想と価値そして歴史

イギリスの歴史哲学者アーノルド・J・トインビーは、民族が減びる三つの原則を挙げています。第1の原則は「理想を失った民族は減びる」。第2の原則は「すべてを物の価値に置き換えて判断する民族は減びる」。そして、第3の原則は「自国の歴史を失った民族は減びる」というものです。これは人生も企業も同じだと思っています。

我が社の理想は、広告業を通して「地域社会に貢献する」。日本全国津々浦々に『地域みっちゃん生活情報誌』をお届けし、読者を上機嫌にしたい。これがグループ全員の思いです。



遊行期・玄冬

そして、我が社の社是は「人が命・人が宝・人が財産」です。中広グループは「報恩謝徳」の精神に満ちた集団であらうとしています。すべてを物の価値に置き換えて判断するのではなく、心の価値を失わない仕事を続けています。その表れの一つとして「児童虐待防止の啓発活動」があります。

三つ目の「自国の歴史」を我が社に当てはめれば、自社の歴史ということになります。初代の口癖であった「飲水不忘掘井人（水を飲むときには井戸を掘った人を忘れるな）」は我が社の社訓。我が社はまだ47年の歴史しかありませんが、自社の歴史、つまりは井戸を掘った先達を忘れては未来の発展はありません。折に触れ時に触れ「飲水不忘掘井人」を社員と共有しています。

大いなる存在を信じ 上機嫌に生きる

この国はバブル崩壊後、経済成長が停滞し、失われた30年といわれてきました。ど

の指標を見てもこの国の衰退は目を覆うばかりです。30年前、私は45歳。最も働き盛りの朱夏の時代です。社会の第一線に踊り出て、社会の中核を担ったのが我々団塊世代でした。

第二次世界大戦の敗戦後、この国を繁栄させたのは生き残って戦前の過ちを悔いた戦前世代です。その後、年平均10%もの成長を続けた高度経済成長期の恩恵を享受し、物質的価値に走りバブル崩壊という経済現象を起こしたのは、団塊世代だったと思っています。その世代が今、後期高齢者でございと若い世代に敬老精神を要求し、高齢者の特権を振りかざすのは、醜いと言いやありません。社会に甘えている状況は国を凋落させている元凶だとも思えるのです。まだ間に合うのか、もう間に合わないのか、わかりません。しかし、次世代に引き継ぐ義務として、団塊世代は責任を果たすべきではないでしょうか。大昔、ワンダーフォーゲルの指導で、隊長の責任は目的地まで隊員を無事に導くことだと教わりました。

私は玄冬をどう生きるか。四つの観点を持つ生き方をしたいと考えています。

- ① 神を信じたい。神というのは特定の神ではなく、人智を超えた大いなる存在。「サムシング・グレート」です。それをアインシュタインは「宇宙の真理」といい、マザー・テレサは「サムシング・ビューティフル（美しい何ものか）」と呼びました。偉大なる何ものかに対する畏敬の念を死ぬまで持ち続け、そのために学びたいと思っています。
- ② 好奇心を失わない、感動する心を失わない。サミュエル・ウルマンの青春です。
- ③ 生かされていることは感謝以外の何ものでもありません。自分にとってマイナスと思える出来事でも、天が与えてくれた試練だと思って感謝の心を磨いていきたい。
- ④ 私のモットーである上機嫌を貫く。絶望するような状況のなかにあっても、前に進んでいく強い信念が上機嫌の本質です。

命尽きるまで修業と捉え、大いなる存在を信じ、感動する感性と感謝の念を忘れず、玄冬を上機嫌に生きていこう。「次世代に引き継ぐまで責務を全うする。もちろん上機嫌で。」と思っています。

75歳まで生かさせていただいたことに改めて感謝致します。ここまで生かされた責任をまっとうしたい。玄冬、命尽きるまで修業です。

原価高騰で注目の「節約」を記事付きで紹介

地域みっちゃく生活情報誌

クライアントと共に作る特集ページ

海に囲まれた志摩市は夏がトップシーズン。暑い日が続き空調は24時間稼働しっぱなし。それなのに、生活に欠かせない電気代やガソリン代は上がり続け、ニュースで見ない日はないほどでした。そんな季節が終わったタイミングで、どの家庭も考える「節約」についての企画を4枠に限定して実施しました。

地元の各分野のプロフェッショナルの協力で「なぜ」「どんなふうに」「何が」節約になるのかを教えていただき、枠の半分は詳細を伝えるお役立ちの記事を掲載しました。誌面の見やすさを考え、イラストを使用したカラフルな誌面に仕上げています。

クライアントと編集者が協力し考え、読者が必要とする情報を届ける、とても素敵な誌面となりました。今後も広告だけでなく、情報を収集しアイデアを出し合い、情勢や地域に合わせた「今必要な情報」をクライアント、読者と共につくる『地域みっちゃく生活情報誌』をお届けしていきます。

(さみっとくらぶ編集室・山本)



働く人の趣味に注目してカーショップを宣伝

地域みっちゃく生活情報誌

信頼関係重視！さまざまな趣味で読者を魅了！

カーショップといえば、信頼関係が第一です。働いている人の趣味に光をあてて、読者に人柄を知ってもらい、情報誌で信頼関係構築のきっかけをつくる企画を実施することになりました。最初は車に限定した企画は営業が難しいかもしれないと不安でしたが、最初の受注クライアントが「車好き」ということで、その仲間の経営者を紹介していただくことができました。どなたも、大好きな趣味に関する話題は尽きることがありません。あっという間に企画完売となりました。今回は紹介を辿って営業できたことや、趣味という観点が吉に出たと実感しています。

発行後は知人から多数の連絡があったとのこと。実際に店舗の利用にも繋がったとの反響がありました。以前にローカルテレビ番組に出演したのと同じくらいの反響だったと、喜んでいただけました。これからも地域に密着し、読者とクライアントがどちらともワクワクして喜んでいただける情報誌づくりに精進させていただきます。

(つばさ編集室・土居)



地域の忘年会情報をまるっとお届け

地域みっちゃく生活情報誌

「忘年祭」特集で地域を盛り上げる！

新型コロナウイルスの5類移行から、初めて迎える忘年会シーズン。今年は映画「女子大小路の名探偵」とコラボし、主演の剛力彩芽さんに誌面へ登場していただきました。総額100万円のギフトカードが当たるキャンペーンや、表紙から巻頭特集まで、まさに「祭」と呼べる一冊となっています。

特集を案内すると街の飲食店からは「いいよだね」「今年こそは載せるよ」「団体がたっぷり獲得したい!」と期待の声をいただき、純広告を含め35店舗以上のクライアントにご掲載いただきました。発行後、読者からは「もうそんな時期だね!」「知りたかったお店の情報が載っていて助かった!」「会社の忘年会を予約しました!」と大きな反響。自ら情報を探しに行くウェブとは違い、直接ポストに届く情報誌だからこそ、遠ざかっていた忘年会文化を今一度思い出し、季節感を感じてもらうことができたことと実感しています。今後も地域に密着した情報発信で地域活性化を図っていきます。

(Kanisn club編集室・光田)



認知度UP・販路拡大を図るコンサルティング業務を受託

イベント

「おうみ海老」販路拡大に向け本格始動！

滋賀県のワボウ電子株式会社が手掛ける「おうみ海老」の、地元以外の販路拡大を目指し、8/23～8/25に東京国際展示場で開催されたジャパン・インターナショナル・フードショー2023へ参加いたしました。同社は半導体の製造・組立、太陽光の施工一式、プリント基板などの製造・組立を行い、製造業で培った管理技術を活かして養殖を開始しました。滋賀県・伊吹山系の伏流水と、マイクロプラスチックなどを含まない岩塩を投入した人工海水で養殖。抗生物質や薬品を一切使わないサステナブルな養殖方法が注目されています。開催期間中の3日間で2万人以上もの来場者があり、おうみ海老のブースにも多くの方が足を運んでくれました。試食をした方からは「食感はふりふりで、甘くて美味しい」「養殖の海老とは思えない」など嬉しいコメントをいただき、多くの関係者と今後に繋がるきっかけを作ることができました。今回の展示会準備、運営を通じてクライアントと過ごす時間が増え、仕事に対する思いや現場の声を感じ取ることができ、これからの信頼関係を築く良い経験となりました。

(関西SP・川那部)



VCTOPIC

全国の仲間と進めた「#にっぽんオレンジシンボル運動」

「#にっぽんオレンジシンボル運動」には、VC加盟社からの多大な協力がありました。山形県の有限会社ピーズ・アソシエイト(『月刊あづま〜』発行)からは、早々にVC加盟誌発行エリア実施決定第1号のお知らせをいただきました。「誌面を作るための過程ではもちろん、発行したあとも、この運動がどんどん広まっていくことを私たちも願っています」とのメッセージも届いています。茨城県の株式会社日宣メディックス

(『月刊にしも』ほか6誌発行)からは、「活動を始めて約4年。まだまだ認知度が低いと感じているので、もっと力を入れて運動を強化していきます」という熱いコメントをいただきました。各地でライトアップのお声掛けをしていただいたVC加盟社の皆様に感謝の意を表すると共に、来年には、「189」番のさらなる周知に繋がる運動となるよう、VC加盟社の皆様と取り組んでまいります。



▲水戸芸術館塔（茨城県）

CHUCO CLUB

第1回 埼玉県VCサミット開催 ～県内世帯到達率80%に向けて～

11月7日、埼玉県VCサミットを開催。現状の再認識から埼玉県の経済を活性化していくための意見交換まで、活発に行われました。現在の世帯到達率約30%を80%にするために、「きょうだい、家族のように!」という池戸武志取締役の挨拶で盛会裡に終了。

終了後のアンケートからは「広告とは人を動かすことであり、人は簡単には動かないからとても厳しいことである、だからこそ、一つひとつの仕事に少しも力を緩めてはいけない、というお話が改めて心に刺さりました」「同じゴールを全員で再認識し、それぞれ出た課題に対して協力し合っていけば埼玉はより活性化していくと感じました」など心強いメッセージが寄せられました。これからの埼玉県発行誌にご期待ください。(VC事業部・高橋)



山形入社式・新オフィス開所式 ～Relationship～

11月10日、株式会社中広メディアソリューションズ(以下CMS)入社式並びに山形オフィス開所式を開催。7人に入社証書が授与されました。式のテーマは「Relationship」。CMSからは幹部含め総勢19人が出席。CMS社員から新メンバーへのメッセージが手渡されました。



新入社員メンバーによる楽しい余興もあり、懇親会は笑顔に包まれました。山形の地で「ARIFT」を創刊する「縁(Relationship)」,この仲間と出会えた「縁」を改めて実感すると共に、涙あり、笑いあいのこの会を通じて山形オフィスの成功を確信しました。ぜひ、山形で大暴れてください! (VC事業部・池戸)

管理本部通信 上半期黒字化！

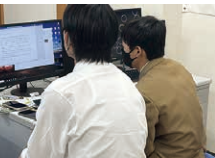
10月末に中広46期第2四半期累計期間(2023年4月～9月)の連結決算短信を開示しました。コストブッシュ・インフレの進行はあるものの景気回復フェイズとなった今上半期において、中広単体の売上は前年同期比114%、グループ売上は同121%となり、DXによる商品性の向上やレスポンス分析に基づく提案営業等により大幅な売上増となりました。利益面においても、連結経常利益が前年同期比122百万円改善の110百万円となるなど、上半期は黒字化を果たし、通期業績予想の達成に向け大きく前進しました。

令和景気に乗り遅れず、年末年始も盛り上がっていきましょう。(管理本部・倉橋)

CHUCO CSR 当社は、地域社会への貢献に積極的に取り組んでいます

大垣市立江並中学校の職場体験を受け入れ、原稿制作、企画立案、発送作業を体験してもらいました。原稿制作では実際の居酒屋やエステサロンなどの情報をインターネットで調べ、企画フォーマットに沿って文章を作成。過去誌を参考にしながら、いかに読者を惹きつけられるかを意識して制作しました。企画立案では2月号の企画を考案。季節感のある企画を意識し、立案からフォーマットのラフ書きまで進めました。発行日となった2日目は発送作業、その他雑務を体験。2人ともとても熱心に意欲的に取り組むことができました。(Wao!club編集室・浅田/森)

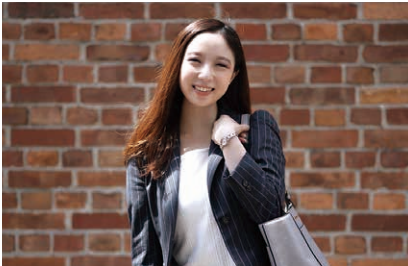
太田市の小中高一貫校であるぐんま国際アカデミー。『太田フリモ』『伊勢崎フリモ』編集室では同校のキャリア教育の一環である職業体験の受け入れをしました。中学2年生の生徒2人が3日間編集室でフリモの制作現場に関わりました。掲載予定の店舗を訪れ、掲載内容の打ち合わせ・写真撮影・ライティングや振出まで一貫して携わりました。実際にできあがった原稿を目にして感動する姿や、懸命に取材する姿を見て、編集室スタッフも初心に戻ることができました。将来を見据えたとき、今回の体験が少しでもプラスの経験になっていることを切に祈ると同時に、今後もこうした地域への恩返しができればと感じることができました。



(太田フリモ編集室・松下)

部署だより NO.119

FM事業部 苦小牧編集室



▲苦小牧編集室スタッフ

広告の力はすごいです。自身がプロモーションを手掛けた展示イベントで、クライアントの車が目の前で売れていく様を目の当たりにして「こんなにも楽しい仕事はほかにない」と確信しました。

この度、生まれ育った苦小牧市での開設が叶いました。地元苦小牧市を、そして北海道を、広告の力で元気にしてまいります。そのために手法は選びません。『地域みっちゃく生活情報誌』、そのほか、他社媒体を含めた各種メディア、印刷物をはじめとするSP商材など、クライアントの課題解決のために複合的な提案をし、アドマンとして大きく成長できるよう邁進いたします。

(苦小牧編集室・高橋)

編集室開設のお知らせ

当社は苦小牧編集室(北海道)を下記の通り開設しましたので、お知らせします。

苦小牧編集室	
住 所	連絡先
〒053-0018 北海道苦小牧市旭町3丁目7番6号 グランドール旭町6号室	TEL 0144-56-5704 FAX 0144-56-5706

編集後記

今年は情報誌発のコンテンツ『女子大小路の名探偵』を、オーディオブックや映画に生まれ変わらせリリースしました。また、情報誌で取り組んできた「児童虐待防止運動」を、当社関係企業・団体にご協力いただき「#にっぽんオレンジシンボル運動」として昇華させたり、中広グループとしては関西ほどが仲間となり、関西エリアでも大きな力をもつことができたなど、新たな挑戦や出会いに恵まれる年となりました。めまぐるしい変化と向き合いながら、成長した2023年。そんななか、上半期を黒字決算できたことは、非常にうれしい結果でした。情報誌事業は下期に向け盛り上がりを見せる傾向があります。この波に乗り、下期、そして通期とステークホルダーのみなさんに喜んでいただけるニュースをお届けできるよう、邁進いたします。来年もどうぞよろしくお願い致します。

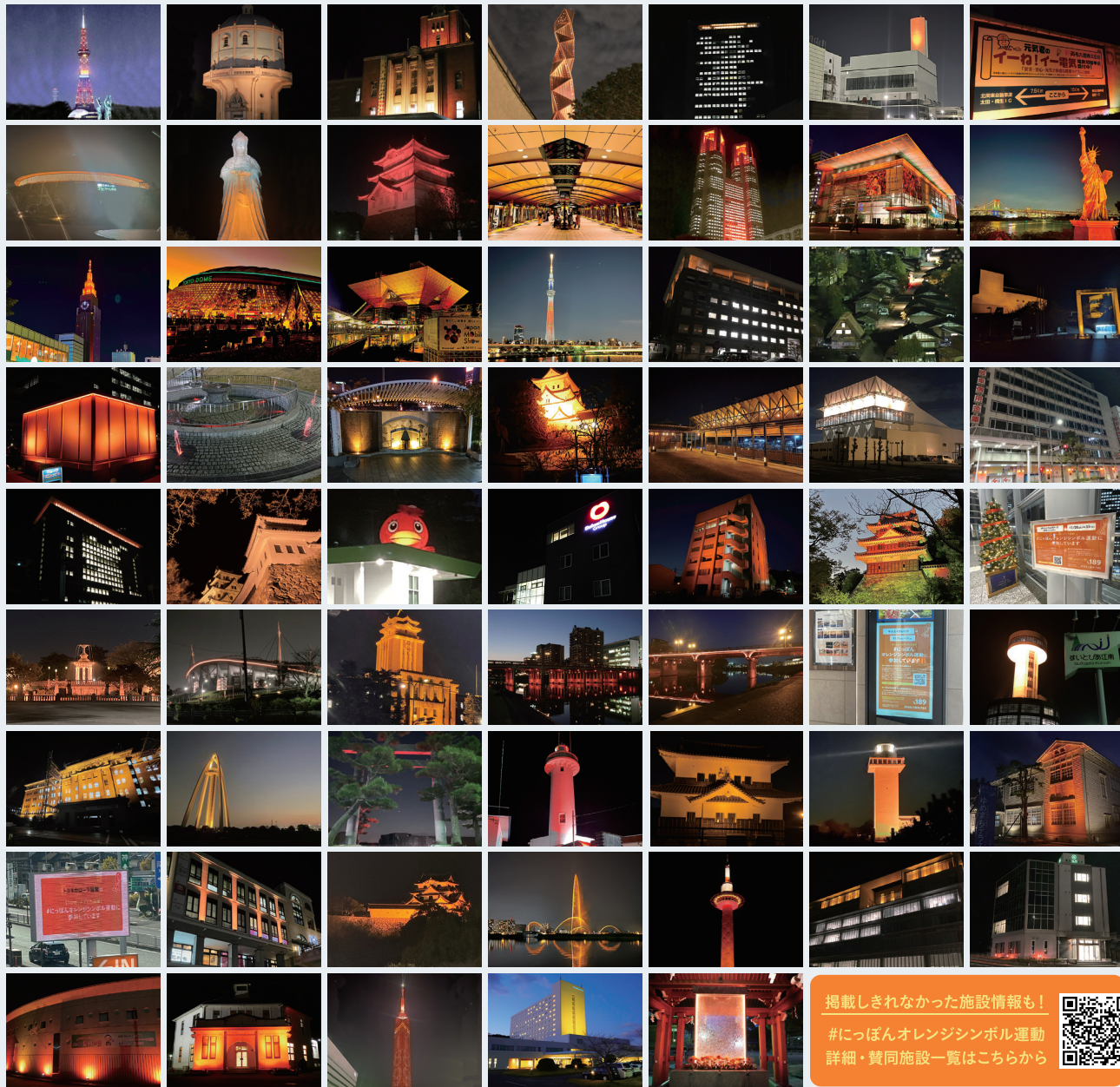
(広報・PR室 岡本)



CSV

日本全国115カ所が賛同 #にっぽんオレンジシンボル運動 児童虐待ゼロを願ったオレンジライトアップ

11月、こども家庭庁は「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」を実施しました。児童虐待問題に対する深い関心と理解を促すもので、全国で啓発活動が集中的に行われました。当社グループとVC各社、そしてJLAA加盟社では11月1日から全国の地域シンボルをオレンジ色にライトアップして児童相談所虐待対応ダイヤル「189」番の周知と児童虐待の撲滅を訴える「#にっぽんオレンジシンボル運動」を展開しました。ご賛同いただきました皆様、誠にありがとうございました。



掲載しきれなかった施設情報も！

#にっぽんオレンジシンボル運動
詳細・賛同施設一覧はこちらから



クリック！

にっぽんがオレンジ色に染まり 地域社会の安寧を願った11月

北は北海道「さっぽろテレビ塔」から南は沖縄県「琉球新報社本社ビル」まで、全国の115カ所がオレンジ色にライトアップされました。「#にっぽんオレンジシンボル運動」は、当社グループが訴える児童虐待防止に賛同いただいた各所の協

力によって実現した、初めての取り組みです。児童虐待は、さまざまな要素が重なり合って起きてしまう、非常に複雑な社会課題です。我々は専門機関である児童相談所に地域からの声が届くよう、「地域みっちゃく生活情報誌®」の発行網を使って虐待対応ダイヤル「189」番を周知することが、虐待のない社会の実現に繋がると信じています。情報誌では毎月「189」番の周知、事例や

相談窓口、子育てのヒントなどを掲載しています。今年の「#にっぽんオレンジシンボル運動」は、児童虐待ゼロの日本を実現するための第一歩です。オレンジ色の光を眺め、一人でも多くの人々が「189」番や児童虐待について考える時間をもっていただけたら幸いです。来年は1000カ所にご賛同いただけるよう、社会課題の解決と真剣に向き合ってまいります。

会社概要	商号	株式会社 中広 (CHUCO CO., LTD.) 東証・名証 証券コード【2139】	
	創業	1978年	
	資本金	4億430万円	
	従業員	433名 グループ全体 661名 (2023年11月末現在)	
事業内容	フリーマガジン事業 セールスプロモーション事業 クロスメディア事業	イベント・セミナー事業 通信販売事業 VC事業(ボランティア・チェーン)	
理念	広告業を通して「地域社会への貢献」	(地方創生に!)	
社是	人が命・人が宝・人が財産 機会損失の排除	(社員が輝く組織に!) (モノ・トキ・ココロの無駄ゼロ)	
社訓	飲水不忘掘井人	(感謝の心で!)	
グループ会社	株式会社中広メディアソリューションズ 株式会社ケイ・クリエイト 株式会社ケイビーエス 株式会社 関西ぼど	https://chuco-ms.co.jp http://www.k-create.co.jp http://www.post-kps.co.jp https://www.kansaipado.co.jp	

第46期 基本方針

スローガン ABCX テーマ 不易流行

オフィシャル 運営サイト	●中広企業サイト ●中広採用サイト ●中広VCサイト ●フリモ(WEB) ●講演会インフォ ●わくわく生活(楽天)他 ●フリモール ●フリモールブログ ●販促blog ●HAPPY MEDIA GUIDE(情報誌見積サイト) ●ハッピーメディア®児童虐待防止運動 ●日本地域メディアネットワーク(JLMN)	
公式 アカウント	●Facebook ●YouTube ●Instagram ●X(旧Twitter)	リンク集はこちら
加盟団体	●JLAA 一般社団法人日本地域広告会社協会	

クリック！



営業拠点

■ 本社 岐阜本社 岐阜市東興町27 名古屋本社 名古屋市中村区名駅1-1-1 24F ■ FM-SP事業部 《北海道》 SORA編集室 滝川市東町6-1-11 TEL.0125-74-6169 旭川市東光6条6-4-7 TEL.0166-85-6158 苫小牧編集室 開設 苫小牧市旭町3-7-6 TEL.0144-56-5704 《宮城県》 とみいず！編集室 仙台市泉区泉中央1-33-7 2F TEL.022-341-4809 なうてい！編集室 名取市手倉田字諏訪532-1 1F西 TEL.022-797-8541 ざきっぺ！編集室 大崎市古川旭5-3-2 2F TEL.0229-25-8792 《群馬県》 高崎フリモ 前橋フリモ編集室 高崎市新保町139-1 2F [高崎フリモ] TEL.027-353-8714 [前橋フリモ] TEL.027-353-8711 伊勢崎フリモ 太田フリモ編集室 伊勢崎市茂呂町2-3522-6 TEL.0270-61-6117 桐生みどりフリモ編集室 桐生市本町6-27-1 3F TEL.0277-47-7635 《埼玉県》 クッキーズ・とねじん編集室 久喜市久喜中央2-8-23 3F TEL.0480-38-6881 《東京都》 岐阜SP部 港区新橋2-16-1 9F TEL.03-6910-2940 《福井県》 きらめきくらぶ編集室 敦賀市野神40-277-2 1F TEL.0770-24-2622 《岐阜県》 GIFUTO編集室 岐阜市東興町27 4F TEL.058-247-2512 SARUBOBO編集室 高山市下岡本町2967-2 TEL.0577-34-5579 Wao!Club・mintoup はしまる編集室 大垣市加賀野4-1-13 [Wao!] TEL.0584-75-1960 [mintoup] TEL.0584-77-4088 [はしまる] TEL.0584-71-6226 GUJOプラス編集室 郡上市八幡町小野91-1 TEL.0575-67-0655 たんとんくらぶ編集室 岐阜市山王通1-6-3 TEL.0575-24-4334 かにさんくらぶ編集室 可児市今渡字町1595-190 TEL.0574-25-7009 おりべくらぶ編集室 多治見市太平町4-38 TEL.0572-21-2626 らせるくらぶ編集室 土岐市泉西山町1-4 3F TEL.0572-55-2033 maika club編集室 中津川市中津川字上金1231-1 TEL.0573-62-2522 官公庁営業部 岐阜市東興町27 4F TEL.058-247-2511 《愛知県》 岐阜SP部 岐阜市東興町27 4F TEL.058-247-2511 ES部 岐阜市東興町27 4F TEL.058-248-5611 EC部 大垣市加賀野4-1-13 TEL.0584-74-0745 《愛知県》 NAGOYA FURIMO 各編集室 [中村・中川・港区版] 名古屋市中川区柳森町107 2F TEL.052-355-6111 [中央・西区・北区・名東・天白・南區版] 名古屋市中村区名駅1-1-1 24F TEL.052-433-1602 緑区フリモ・北知多フリモ編集室 名古屋市長瀬大田1-150 2F TEL.052-829-0270 守山フリモ アサヒトセト・ひまわりくらぶ編集室 尾張旭市東本郷4-原町3-53 2F [守山フリモ] TEL.0561-42-5799 [アサヒトセト] TEL.0561-42-6981 [ひまわりくらぶ] TEL.0561-42-6971 ゆいまるくらぶ・さんごくらぶ かなうくらぶ編集室 愛知郡東郷町北山台4-1-6 [ゆいまるくらぶ] TEL.0561-42-4850 [さんごくらぶ] TEL.0561-42-4885 [かなうくらぶ] TEL.0561-42-4855 Cocon club・ちるくらぶ 安城フリモ編集室 知多郡東浦町大字緒川字下汐田17-1 TEL.0562-85-1077 リパル倶楽部編集室 犬山市松本町2-29 TEL.0568-39-6111 岡崎フリモ・西尾フリモ編集室 岡崎市明大寺町字寺東9-1 5F TEL.0564-83-7121 名古屋SP部 名古屋市中村区名駅1-1-1 24F TEL.052-571-2139 《三重県》 ぼろんくらぶ編集室 桑名市殿町10 TEL.0594-25-9988 Belive club編集室 鈴鹿市神戸1-10-10 TEL.059-373-4400 よっかいあい編集室 四日市市鶴の森1-5-16 8F TEL.059-325-7562 つづび〜ず編集室 津市栄町1-840 5F TEL.059-213-7666 リーガクラブ編集室 名張市鴻之台3番町36-1 TEL.0595-41-0156 ふぁみんぐくらぶ編集室 松阪市東町596 3号楼 1-A TEL.0598-31-3623 イセクラブ編集室 伊勢市岩洲3-6-5 2F TEL.0596-63-8282 からっと倶楽部編集室 尾鷲市坂場西町2-34 2F TEL.0597-37-4100 さみっとくらぶ編集室 志摩市阿児町鵜方2850-126 D号室 TEL.0599-65-7201 三重SP部 四日市市鶴の森1-5-16 8F TEL.059-325-7562 《滋賀県》 ぼてじゃこ倶楽部編集室 長浜市宮司町1161-7 2F TEL.0749-68-2577 こんきくらぶ編集室 彦根市長曾根町9-22 1F TEL.0749-26-0555 オウテクラブ編集室 近江八幡市桜宮町289 3F TEL.0748-36-1148 湖南フリモ・甲賀フリモ編集室 栗東市手原5-6-19 TEL.077-596-3335 びわこ編集室 関西SP部 大津市浜大津2-1-35 6F TEL.077-521-3911 《奈良県》 かしるくらぶ編集室 橿原市葛本町260-1 1F TEL.058-240-4005 [購買流通課] TEL.058-246-0285 《和歌山県》 まいなが編集室 岩出市高瀬34-2 2F TEL.0736-67-7630 《鳥取県》 つばさ編集室 鳥取市吉方温泉3-860 2F TEL.0857-30-6446 くらくらぶ編集室 倉吉市山根540-1 4F TEL.0858-27-0510 こはくくらぶ編集室 米子市西福原2-9-49 2F TEL.0859-21-5400 《福岡県》 マイタウン西區版編集室 福岡市早良区西新5-1-30 3F TEL.092-833-5250 むなふ・おるね編集室 宗像市土伏1-3-34 1F [むなふ] TEL.0940-72-6101 [おるね] TEL.0940-72-6102 福岡SP部 北九州市小倉北区堺町1-3-15 4F TEL.093-383-7581 《佐賀県》 月刊TOSS編集室 鳥栖市東町1-1064-15 1F TEL.0942-50-9619 ■ VC事業部 岐阜市東興町27 4F TEL.058-214-3325 《グループ戦略統括事業部 名古屋市中村区名駅1-1-1 24F TEL.052-562-2139 ■ 管理本部 経理部・総務人事部 岐阜市東興町27 2F TEL.058-240-4005 [購買流通課] TEL.058-246-0285 ■ グループ会社 株式会社関西ぼど 本社 大阪市西区靱本町1-10-24 5F TEL.06-6479-3113 北大阪支社 寝屋川市大利町10-10 1F TEL.072-827-0817 東大阪営業部 東大阪市下小阪2-14-16 3F TEL.06-6729-8101 株式会社中広メディアソリューションズ 横浜支局 横浜市中区真砂町3-38 5F TEL.045-225-9267 埼玉支局 さいたま市南区南浦和2-39-16 3F TEL.048-767-8238 仙台支局 仙台市若林区新寺1-2-26 5F TEL.022-792-8101 山形オフィス 山形市諏訪町1-1-1 2F TEL.022-792-8101 株式会社ケイ・クリエイト 本社 一宮市木曽川町里小牧寺東125 TEL.0586-86-0608 東尾張支社 岩倉市新柳町1-50 2F TEL.0587-96-8331 株式会社ケイビーエス 岩倉市新柳町1-50 2F TEL.0587-96-8336

※従業員数はグループ会社含む ●…地域みっちゃく生活情報誌®